

## サンノゼ市との交流

岡山市は国際友好交流都市である米国サンノゼ市と平成4年度から専門家の相互派遣を行っています。この度、平成9年の姉妹都市締結40周年記念事業の一環として岡山市民から寄せられた寄付金をもとに、サンノゼ市ケリーパーク内日本友情庭園の門を建築することとなりました。これに伴い、日本の建築技術と技法により、より日本的な門とするため、平成10年にサンノゼを訪問した際に門のデザインを依頼された建築家の難波昭彦氏を専門家として同市に派遣しました。

また、NPO法人CDM Japanの事務局長として活躍されている難波昭彦氏は、サンノゼ市や地元のNPO団体により行なわれている都市・住宅再開発プロジェクトの視察も行い、有意義な滞在となりました。

### 建築家・NPO法人 CDM Japan事務局長 難波 昭彦 (派遣期間：平成15年9月12日～21日)

昨年9月に、岡山市からの技術者派遣ということでサンノゼ市（アメリカ合衆国、カリフォルニア州）を訪問しました。目的は2つ、1つは1998年にこれも技術者交流というかたちで同市を訪れた際、デザインしていました、日本庭園の数寄屋門実施設計の打合せ、もう1つは、最近のサンノゼ市での再開発の状況とそれにNPOがどう関わっているのかを視察研究することでした。以下に報告としてまとめてみました。

今回の訪問に当たり、現地では、サンノゼ市City Economic Development担当のJoe Hedges氏に大変お世話になりました。9月15日(月)～9月19日(金)までの実務期間中のプログラムをコーディネート下さり、充実した一週間でした。また、前回の訪米と同様に、Pacific NeighborsのGloria Stern氏、Bob Green氏、三浦和子ご夫妻には、サンフランシスコまでの出迎え、見送り、ホームステイと、何から何までお世話になりました。このページを借りまして感謝申し上げます。



(Joe Hedges氏とGloria Stern氏と打合せ)



(手頃な価格の住宅の視察)

#### 1. 庭園・数寄屋門実施設計

昨年3月に、いよいよ数寄屋門の建て替えが出来そうだという連絡が入り、実施設計がスタートしました。現地の担当architectはEugene Sakai氏という日系の方で、非常に緻密な図面を描く方でした。7月までメールでやり取りし、ほぼ最終決定した結果を、私の訪米までに、詳細図として起こしてくれました。

工事予算もちろんですが、日本の気候と現地の気候との違い、和風の技術力の違い等相談しながら、材料の選定から納まりまで、太平洋を隔ててはありましたが、十分に打合せ出来たものと思っています。サンノゼでの最終打合せの時初めてお目にかかったのですが、日系らしい、物静かで控えめな方でしたが、いかにも芯は強いという様にお見受けしました。完成を楽しみにしています。

#### 2. Project Management / Facility Managementという事

サンノゼ市では現在City Hallの建設中です。一連の都心再開発プロジェクトの1つですが、計画に先立ってのProject Managementの為にチーム編成の仕方、Facility Managementの進め方等、先進的な設計手法、工事発注手法等を聞くことが出来ました。Project Managementの段階で機能と予算を徹底的に練り上げるシステムは、未だ日本が大きく水をあけられているところです。Facility Managementについても同様で、建築の寿命を、75年から100年と想定した上で、いかにsustainabilityをもたせるか、を追求している姿勢にはうなづくことしきりでした。

#### 3. Affordable Housing Works

住宅の開発は、ITバブルの影響もあってか、相変わらずの活況を呈していました。98年当時と比較して、分譲価格、賃貸家賃とも大きく値上がりしていたのが気にはかかりましたが、「誰でもが得やすい住宅を」ということで、郊外の廉価なものから、都心部の高価なものまで活発に開発されていました。California州全体がCommunity Redevelopmentというテーマを掲げ、affordable住宅の供給と雇用の創出、交通システムの整備、環境の保護に力を入れているとの事でしたが、housingは勿論のこと、どの分野にも、NPO組織が積極的に参加して成果をあげているとの事でした。



(歴史建物の保存)

#### 4. Historic Preservation is Good Business

新規の開発も盛んでしたが、片方で大変地味ですがNPO組織による貴重な活動を視察することもできました。それは、ここ100年くらいの間に建てられた住宅やオフィス、工場等の歴史的意義を顕彰し、その建物を移築・保存して活用するという活動です。歴史的意義というと日本では小難しく考えてしまいがちですが、そこはアメリカ。要するに古いものを壊さず活用し、歴史の記憶の拠り所を残していこうということのようです。住宅は、主に低所得者向けに再利用されているようです。100年前の歴史的スタイルの住宅に住んでいるメキシコ系の家族は、いかにも代々そこに住んでいるかのようになっていました。

## サンホセ市との交流

「サンホセの夕べ」

日時：平成16年1月23日

場所：第一インホテル

岡山サンホセ協会（谷義仁会長）の皆さんをはじめサンホセ市と縁のある市民が参加し「サンホセの夕べ」が開催されました。会は終始和やかな雰囲気で行われ、それぞれが交流を深めました。

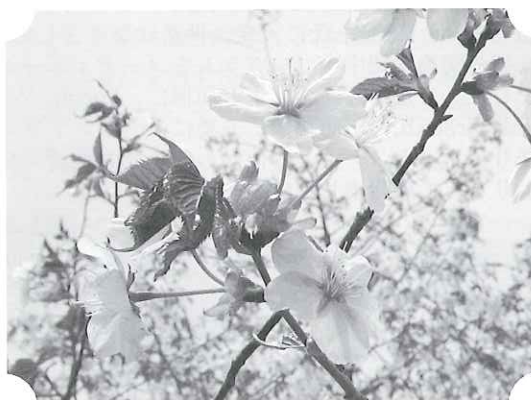


## プロブディフ市との交流

（平成16年2月）

昨年、姉妹都市締結30周年を記念し、岡山市民親善訪問団がブルガリア共和国プロブディフ市を訪問した際、「平成4年に岡山市から寄贈を受けたサクラの苗木が、プロブディフ市の寒冷な気候によりすべて枯れてしまったので再度送っていただきたい」との要望を受け、このたび、寒冷地でも生育するエゾヤマザクラの苗木100本を寄贈しました。

この苗木は、3月にプロブディフ市内の公園に植樹されました。数年後には同市民の皆さんに美しいサクラを楽しんでいただけることでしょう。



数年後にはプロブディフ市に「エゾヤマザクラ」の花が咲くことでしょう

## 友好交流サロン

### 1 ユネスココーナー

（平成15年11月28日）

ユネスコ（国連教育科学文化機関）情報を地域に発信するため、岡山市国際交流協議会と岡山ユネスコ協会が協働して友好交流サロンの一角にユネスココーナーを開設しました。当コーナーでは、岡山ユネスコ協会より提供していただいたユネスコ関係の書籍等を市民の皆さんにご利用いただきます。



## 2 国際交流ふれあい講演会

岡山市に住む外国の方や海外生活の経験がある方に、「母国の最新事情」や「自分で体験した外国」について身近な話題を取り上げて興味深い話をさせていただきました。

この講演会への参加が外国や国際化への関心を高めていただく一助になったものと思います。



5月 マーティン・トーマスさん  
「英国の文化と人々について」



来場者の皆様から、様々な質問が飛び出します



6月 太田 智子さん  
「謝々朋友～中国・洛陽で過ごした1年～」



7月 シャヒドウル・イスラムさん  
「 Bangladesh の食文化と日本との食文化の違いについて」



8月 シルヴィア・クヴェチェンさん  
「ポーランドに旅行しませんか」



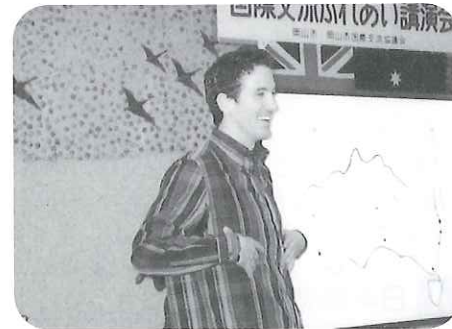
9月 中山 怜子さん  
「色彩と国際理解」



10月 セイジ・ストラトンさん  
「アメリカ南部と日本の日常生活の違い」



サンドイッチの試食が用意され、来場者の方々にとても好評でした



11月 ポール・ディ・ダーセルさん  
「広い国オーストラリア」



1月 孫 泰欽さん  
「在日から見た韓国と日本」



2月 藤枝 茂雄さん  
「遠くて近い国メキシコ」

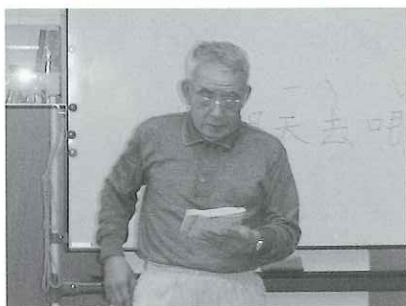


3月 魏 莉娟さん  
「中日の教育について」

### 3 外国語会話教室

外国語会話教室は「中国語会話教室入門・初級」「スペイン語会話教室入門・初級」「ハングル会話教室入門・初級」「シニア英会話教室」の7教室を設けています。

#### 中国語会話教室



▲入門 河田 治先生

#### スペイン語会話教室



▲入門 アントニオ・コウジ・ナカツカ先生

#### ハングル会話教室



▲入門 崔 泰順先生



▲初級 胡 鈺娟先生



▲初級 アリアス・スレマ先生



▲初級 黄 義中先生

#### シニア英会話教室

キャンベル・アンドレア先生▶



### 4 日本語教室



日本語のレベルによって初級から上級まで少人数にクラス分けされ、ニーズに合った学習をすることができます。また、先生との対話によって表現力を養います。

#### 西川日本語教室



岡山市に住む外国人の方が年々増加し、現在8,000人を超えています。その中には来日後、日が浅く、日本語で困っていらっしゃる方も少なくありません。このような人たちの日本語学習の手助けをしようと、平成4年、岡山大学留学センター非常勤講師の山本初美先生をはじめ、約20名の先生方が日本語教育のボランティアグループ「西川日本語教室」を立ち上げ、日本語教室を開いています。毎週木曜日、西川アイプラザ4階の友好交流サロンで行われる、なごやかで熱のこもった授業は、受講生に大変喜ばれ、その数も年々増えています。

## 4 ボランティア活躍記

### 「ボランティアという責任と意味」

笠原 怜子 (ボランティア通訳・翻訳登録者)

ボランティア通訳・翻訳者として登録させてもらって半年経過した頃、その依頼が突然ありました。

大学病院で取材をしているテレビの制作会社が、緊急入院してきたマレーシア人の赤ちゃんの両親の通訳をして欲しいとのことでした。医学に関する知識は限りなくゼロに等しいのにそんな重大な役割が果せるのかという不安がよぎりました。担当のプロデューサーの方の真摯な番組制作への思いと医療の専門的な知識があるわけではない、との言葉に引きうける決心をしました。当初は、赤ちゃんの両親とのインタビューを、ということでしたが、赤ちゃんの手術日がなかなか決まらず、その不安を取り除くためにも相談でいいから話しをしてくださいと言われました。彼らにとっては初めての子供で、慣れない土地で言葉もわからず、さぞかし心細いことだったと思います。母親のリーティンは英語がほとんど話せないため、ご主人のウェイチョンに伝えそれを彼が中国語で伝えるという事に少なからずもどかしさを感じました。また、命に関わることなので病院のスタッフの方が伝えてくださいと言ったこと以外、安易に話すこともできません。私の役割は何だろう、と考える日々が続きました。それから半年後、再会した赤ちゃんは大きく育ち退院が決まり家族は帰国することになりました。母親のリーティンは、たどたどしい英語でありがとう、と言って、退院が決まっておめでとうと言った私の手をギュッと力強く握りしめました。その時、言葉以上に大切なものがあり、それが伝わっていたんだと感じ、ボランティア通訳の本当の意味がわかりました。



赤ちゃん退院の日に (右側が筆者)

### 「我が家で楽しむ世界旅行」

近重 定江 (ボランティアホームステイ・ホームビジット登録家庭)



紅葉をバックに (右側が筆者)

6年前、初めてポルトガルからの留学生を迎えました。ホームステイの受入経験者に心構え、食事、習慣の違い等を尋ねたりしましたが、不安で一杯でした。「案ずるより生むが易し」といいますが、ともに過ごした2日間は全てにおいて大成功。以来ホームステイにはまってしまいました。ウェルカムボード、国旗、世界地図、メッセージノートを備え、両国の国歌を聴いて交流の始まり。今まで10カ国18人の方を迎え、何人かの方とは文通(電話、メール)が続いています。“ホームステイ受入”居ながらにしてできる“世界旅行”こんな素晴らしいことがあるのでしょうか!現在中国鄭州からの留学生と中国旅行中です。娘が子供連れで帰省した際、彼女と孫達は何ら先入観も無く、会った瞬間にうちとけ、ゲームをしたり、漢字の宿題を教わったり、小さな子供にとって国境など全く存在しない様です。

留学生達の日本語修得力には驚かされました。わずか3ヶ月で日常会話に不自由は無いのですから。それに比べ主人の英語は目下低空飛行。私は独語を習っていますが会話は苦手。海外旅行はおろか、飛行機に乗ったことも無く、ビザとパスポートの区別も知らず、先生目が点になる珍問答。それでも少しは上達しつつあるのでしょうか、主人が英語で四苦八苦しているのを傍らでみると、独語で助け船を出せる様になりました。私達はホームステイ受入による、“世界一周旅行”を目指しています。現在ドイツにビザ申請中。ドイツの次はどこへ旅行できるのでしょうか?

## 5 「あくら」の発行

「あくら」は英語、中国語、ハンゲル、スペイン語の4ヶ国語に翻訳し、3ヶ月に一度発行している外国人向けの情報紙です。市民のボランティア編集員の方が、編集会議を行い、記事の内容を決めて取材や編集を行っています。今後は、読者の皆様からのアンケート等によるご意見をもとに、より充実した「あくら」作りを目指していきます。



◀ 4ヶ国語に翻訳



「あくら」編集会議の様子▶

## 6 無料インターネットサービス

無料インターネットサービスを始めて、2年が経過しました。  
外国人市民の方をはじめ、市民の皆様大変好評をいただき、多くの方にご利用いただきました。



## 地域国際化推進フォーラム 「サラダボウルおかやま」

地域への国際化の波を市民の皆様方にお気づきいただくとともに、異なる文化・習慣を持つ人々が、岡山という「サラダボウル」の中で、個性豊かなサラダの素材として、一体感がありながら、お互いに個性を發揮しあい、個々がキラッと輝くような社会の構築を目指し開催しました。



ファンシーダンス



ジングルドレスダンス



ワラワラ族酋長カール・サンブソン氏とドナルド・サンブソン氏の会場参加者への祈り

第一部 アメリカ先住民による講演と踊り・音楽の夕べ  
日時 平成15年10月24日  
場所 岡山市立オリент美術館

アメリカ・オレゴン州北東部とワシントン州南東部に住んでいるユマティラ族、ワラワラ族、カイユース族の先住民に関する伝統的・現代的な生活や文化、宗教、経済、社会問題についての講演後、ダンスグループ「Wallulapum」による伝統の踊りと音楽の披露が行われ、会場は一体となり大いに盛り上がりました。



フィナーレと退場のダンス

第二部 地域国際化シンポジウム  
日時 平成15年10月25日  
場所 岡山済生会ライフケアセンター「やすらぎホール」

「なるほど！地域国際化への取り組み・・・あんなことこんなこと」をテーマに岡山市で活躍されている外国人講師2名の講演の後、田中潔岡山商科大助教授のコーディネートにより、萩原市長をはじめとする5名のパネリストと、会場参加者によるオープン会議が行われました。会場からは、身近な地域国際化の課題について、様々な国籍の方から数多くの意見が出されました。



モハマッド・ライース氏  
「国際都市岡山!？」



サンドラ・ロジャース氏  
「Thinking Beyond Borders」  
～国際人の育成を目指して～  
清心小学校国際コースの取り組み



会場参加者からの質問



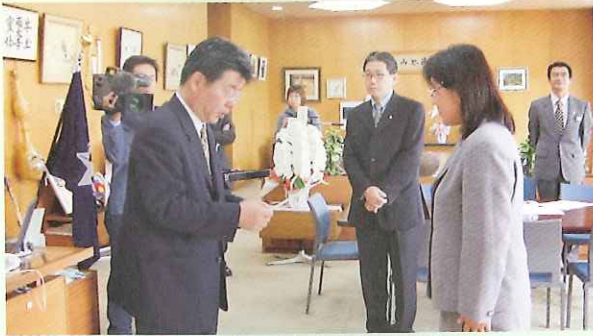
パネルディスカッションの様相

# ふれあい

# トピックス

## ●中国洛陽市から国際交流員魏莉娟氏来岡

中国洛陽市から国際交流員として魏莉娟氏が来岡。任期は1年間で、国際交流事業の企画・立案、国際理解・翻訳・通訳業務等様々な分野で活躍されています。



萩原市長より辞令を受け取る魏氏  
(平成15年4月10日)

## ●岡山大学・サンノゼ州立大学学生相互派遣

岡山大学とサンノゼ州立大学は、昭和49年に大学間協定を締結し、平成13年度からは学生の相互派遣を行っています。サンノゼ州立大学から一昨年12月に帰国した日本人2名と、同大学から同年10月に来岡した米国人学生1名が岡山市長を表敬訪問しました。



(平成15年7月24日)

## ●第2回岡山市・富川市友好美術展 開催

日韓両国と岡山市・富川市の芸術文化の相互理解をますます深めようと、昨年に続き第2回目の美術展がベネッセ本社展示場で開催されました。絵画、書、工芸、版画など、岡山市から29点、富川市から30点が出品され展示されました。



(平成15年9月18日～9月22日)

## ●台湾・新竹市光復中学校訪問団 来岡

台湾新竹市光復中学校から、日本語を学習している生徒40名が来岡し、交流を行っている芳泉中学校やかわいい保育園等を訪問しました。また、岡山市長を表敬訪問しました。



(平成15年10月23日)

## ホットミニ情報

- ◆インドネシア共和国ジュンブラナ県知事他11名が来岡し、岡山市長を表敬訪問。(平成15年6月18日)
- ◆学校法人加計学園招聘『学生文化研修団』一行29名が友好親善と相互理解を深めるために来日し、岡山市長を表敬訪問。(平成15年7月4日)
- ◆カナダから国際交流員として平成12年7月17日より友好交流サロンに勤務していたアニタ・チャイ氏が任期満了に伴い平成15年7月16日をもって退職。
- ◆カナダから国際交流員キャンベル・アンドレア氏が来岡し、岡山市助役より辞令交付。(平成15年7月29日)
- ◆インド共和国プーネ市行政監督官以下19名が日本の地方自治体組織や行政システムなどの視察及び岡山経済界との意見交換をするため来岡し、岡山市助役を表敬訪問。(平成15年10月6日)
- ◆インド共和国プーネ市の招聘により、岡山市職員1名と、岡山県職員1名が今後の友好交流について協議するため同市を訪問。(平成15年11月22日～28日)
- ◆第10回おかやま国際貢献NGOサミットの開催に伴い、各国からの参加者が岡山市長を表敬訪問。(平成15年1月22日)
- ◆平成15年9月29日に岡山理科大学附属高等学校と姉妹校の縁組をした富川市正明(ジョン・ミョン)高等学校の生徒が研修と交流のため来岡し、代表者が岡山市長を表敬訪問。(平成15年2月16日)

## 募集中

- ☆ボランティア通訳・翻訳登録者
  - ☆ホームステイ・ホームビジット引受家庭
  - ☆外国人向け生活情報誌「あくら」編集ボランティア
- 随時募集しています。

## 友好交流サロン情報のメールでのお知らせ

サロン情報をメールでお届けします。ご希望の方は、次のところへ「住所、氏名、メールアドレス」をご連絡ください。

- ・ E-mail : oifa@po1.oninet.ne.jp
- ・ FAX : 086 - 234 - 5878

## 友好交流サロンご利用のご案内

日本語、外国語の書籍、雑誌、新聞のほか、インターネットのできるパソコンや国際関係のチラシ類などが多数あります。また、国際交流の情報交換の場として「インフォメーションボード」を設けています。お気軽にご利用ください。

## 岡山市国際交流協議会事務局

〒700-8554 岡山市大供1-1-1 岡山市役所国際課内  
TEL : 086-803-1112  
FAX : 086-225-5408

E-mail: kokusaika@city.okayama.okayama.jp  
URL: <http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/kokusaika/index.htm>

〒700-0903 岡山市幸町10-16 西川アイプラザ4F 友好交流サロン内  
TEL : 086-234-5882  
FAX : 086-234-5878

E-mail: oifa@po1.oninet.ne.jp